

令和5年度 研究主題と研究内容

①研究主題

令和5年度 研究主題(案)

『わかる喜び, 学ぶ楽しさを実感できる児童の育成』

～Google for Educationを効果的に活用した授業実践を通して～三年次

副主題について

- Google for Educationを活用した楽しい学びの実現に向けて(一年次)
- Google for Educationを効果的に活用した学びの実現に向けて(二年次)
- Google for Educationを効果的に活用した授業実践を通して(三年次)

②研究主題設定の理由

*昨年度までの研究から

これまでの2年間の研究から,教材・教具の一つのツールとしChromebookを活用することで,児童の授業に対する意欲が高まり,積極的に課題に関わろうとする姿を見ることができた。教師がICT活用の効果的且つ適切な場面を見極め,学年の発達段階に応じてChromebookを積極的に取り入れることによって,児童のさらなる学習意欲の向上につながることも実感できた。

しかし,同時に「いろいろな機能を学習のどの場面で活用」していくかを検討していくことが課題として上げられた。その課題を解決するべく,今年度は,これまで学び得たことを生かし,「どの教科のどの単元のどのような場面でのどのような機能が有効か」を実践し,検証していくことが必要だと考えられる。

昨年度までは,研修や学習会を中心に研究を進め,各教師がChromebookの活用を意識した授業につなげることができた。今年度は,そのまとめとして,Chromebookの効果的な活用を目指して授業を作り上げ,授業の実践交流をすることで,授業の改善,授業力の向上を図っていきたいと考える。また,そのことが子供たち一人一人の学びを確実にしていくことにつながると考える。

*学校教育目標の具現化から

学校教育目標,目指す子ども像を受け,新田小学校スクールプランにも掲げられている『確かな学力』に着目した。学校経営の具体的な目標「わかる喜び,学ぶ楽しさを味わえる授業づくり」においての重点事項にも,「1人1台端末等ICTの有効活用」が掲げられている。

教材・教具・授業形態・評価法などを工夫した楽しくわかる授業は,子供たち自身が「わかった!」「できた!」「力がついた!」を実感でき,充実感,達成感を味わうことで学ぶ楽しさを見出し,主体的に学ぶ意欲につながっていくと考える。さらに,ICTを効果的に活用することで,児童の主体的な学びや互いの学び合いにもつながり,本校の教育目標の具現化につながるものとする。互いに学び合いながらその自ら学ぼうとする意欲こそが,確かな学力が身につく一歩となり,確かな学力の定着へとつながっていくと考える。

*本校の児童の実態から

本校は,児童数77名の小規模校である。その中には,外国籍の児童や外国にルーツをもつ児童が多くいる。また,様々な特性をもつ児童も多い。明るく素直だが,様々な家庭環境の中で,自信がもてず,自己肯定感が低い児童も多いと感じる。

新たに研修や研究を深める部分をもちながらも,ユニバーサルデザイン(UD)の視点を生か

した授業づくり「新田スタンダード」の徹底と、UDの視点でも効果的とされるICTの活用を取り入れた授業づくりは、新田小学校の全ての児童にとっての安心感や学ぶ楽しさにつながるものである。だからこそ、昨年度に引き続き、同じ研究主題で研究行い、全ての児童にとって深めていくことに意義があるのではないかと考える。

③研究内容

「GIGAスクール構想の実現に向けた授業づくりに向けて」の準備

Chromebook活用のための研修会(指導主事・講師等の招聘も考えています。)

1	4月18日(火)	研究の方向性・研究主題の決定
2	5月21日(火)	研究内容の決定・研究授業者等決定
3	6月13日(火)	Chromebook研修会
4	7月21日(金)	【研修会】 校内研究(授業について検討)・コア+研修
5	10月23日(月)	低ブロックまたは高ブロックの授業実践・研究会
6	11月21日(火)	低ブロックまたは高ブロックの授業実践・研究会
7	12月20日(火)	研究紀要作成について
8	1月23日(火)	研究のまとめと反省・研究紀要作成について
9	2月27日(火)	研究のまとめ 来年度の方向性について

(4) 研究組織

*今年度は、「金融金銭教育」の研究もスタートします。(土屋先生が主になって行ってくださいます。)

まだ、具体的な取り組み内容については確定していませんが、その研究も並行して行う必要があります。4月26日に正式に金融教育委嘱状が交付され、取り組みの方向性が見えてきます。それによつては、研究組織を「研究授業」と「金融金銭教育」に分けることも予想されます。まずは、ICTを活用し授業への取り組みを考えて以下の研究組織を提案します。

低学年	高学年
1年 : 清水	4年 : 小沢
2年 : 内海	5年 : 新井
3年 : 望月	6年 : 小坂
たんぽぽ : 渡邊	ひまわり : 藤原
サポート : 米山	サポート : 古屋 渡辺
教務 : 校長 小澤	教務 : 教頭 土屋
里吉 石原	米長 水谷

令和5年度 校内研究会の構想

学校教育目標

～生きる力を備えた子どもの育成～

○たくましく ○やさしく ○かしこく ○うつくしく

めざす児童像

- 健康や安全に気をつけ、進んで生活する子ども
- 自他を思いやり、豊かで安らかな心をもつ子ども
- 課題をつかみ、解決に向けて主体的に学ぶ子ども
- 自己有用感を持ち、行動できる子ども
- 将来への夢と希望をもつ子ども

研究主題

『わかる喜び、学ぶ楽しさを実感できる児童の育成』

～Google for Educationを効果的に活用した授業実践を通して～三年次

